



業務量見通しなど質疑

建コン協 道支部、道 6項目で意見交換

建設コンサルタント協会北海道支部（柳川捷夫支部長）と北海道建設部との「建設コンサルタント業務に関する懇談会」が5日、札幌市中央区のKKRホテル札幌で開かれた。写真。2009年度以降の同部所管の事業費と業務委託量の見通しや、公共工品質確保促進法（品確法）に関する施策など6項目について、意見を交わした。

懇談会には、協会から柳川支部長、山花剛副支部長ら、道建設部から武田準一郎技監、桶田謙一技術管理課長らが出席した。

懇談会では、道の「新たな行財政改革の取り組みの見直しの方向性」の改訂を受けた09年度以降の同部所管の事業費、委託業務量の見通しや、社会資本整備関連予算の具体的な取り組み予定を尋ねた。品確法に関する施策に関して、業務評定点およびテクリス（測量調査設計業務実績情報システム）登録の活用状況

プロポーザル方式と総合評価方式の導入、予定価格の事後公表の公表予定件数および公表基準などについて、意見を交わした。

電子調達については、閲覧図書（電子による提供範囲の拡大の検討状況や、支障物件調査業務で、電子調達ができない状況となっていることから、今後の実施予定を尋ねた。また、予定価格の事後公表の実施を受けて、委託費内訳書の提出に関する考えを聞いた。このほか、07年度の業務成績評定の土木現業所別、委託業種別の結果について、新たな傾向などを尋ねた。